



麦笛

34号

2022年8月12日

発行
東京尊商会広報委員会

発行人
村井 健 (51期)

E-mail

同窓の絆

3年ぶりの総会開催を期待

創立70周年+1 (プラスワン) 記念総会

東京尊商会会長 49期 小野政春



国内で初めて
新型コロナウイルス感
染者が報告された
のは、2020

年(令2年)1月でした。それ以降、
新型コロナウイルスが猛威を振る
い、残念ながら東京尊商会総会「同
窓の絆」はご案内の通り2年続け
て「休会」となりました。

さて、今年の総会はどうなるで
しょうか。この原稿を書いている
時期は6月中旬ですが、この時点
でコロナ感染状況は減少傾向に向
かっています。

札幌では3年ぶりに「よさこい
ソーラン祭り」が、マスク着用な
どの感染予防策を採ったうえで開
催されているようです。また、小
樽では「潮まつり」が7月下旬の
実施を目指して、出店や練りこみ
参加者の募集等が行われているよ
うです。各種のイベントなどが徐々

「尊商会」は「宝箱」

さて、本会会員の皆さんは、仕
事や子育てに懸命だった時期が既
に過ぎたシニアの方が多くですが、
私の経験上、仕事の現役生活を卒
業してからは、時間的に余裕が出
来、時に何をしたいのか判らない
という場面に遭遇する人も多いよ

うに見受けられます。

そんな時に、同じ時代を生きた
友との再会が出来る同窓会は、忌
憚なく交流が楽しめ、更に友人の
趣味や生きがいに触れることも出
来る等、これにより新しい糧を得
る可能性があります。昨年発行の
本紙(33号)でも書かせて頂きま
したが、母校が無くなった今、こ
の「東京尊商会」は、同じ学び舎
で過ごした旧い友人と接触が出来
るだけでなく、当時の思い出や体
験がぎゅっと詰まった「宝箱」の
ような貴重な存在になり得ると考
えています

総会「同窓の絆」の活性化を

今年「同窓の絆」総会が開催
出来るであろうと期待しています。

そこで皆さん、「東京尊商会」総
会の席では、まずは難しい理屈は
抜きにして自由にしゃべり合うこ
とにしましょう。そうすると、必
ずや一番活動的だった高校時代の
ことが懐かしく、楽しく思い出さ
れ、馴染み深い仲間との交友がよ
り深まります。

忘れかけていた当時の自分を思
い出し、気持ちも新たにリフレッ
シュできるはずです。人生の再出
発のきっかけをつかめるかもしれ
ません。

事業等も止む無く延期としました。
本年は、総会開催の暁には「創
立70周年+1 (プラスワン)」とし
て記念行事を実施する予定です。
具体的な内容は、総会実行委員を
主体にして検討してまいります。
大いに期待して下さい。

「東京尊商会創立70周年+1」 記念事業

東京尊商会は1951年(昭和
26年)の設立ですので、実は昨年に
創立70周年を迎えました。

ところが、残念ながらコロナ禍で
総会を「休会」せざるを得ず、記念

歌謡曲流し 亡き親友悼む

39期 鹿摩勇夫



コロナ禍の午
後、久しぶりに
大好きな歌謡曲
を聴きながら、歌の舞台である宮
城県仙台市に今は亡き親友を訪ね
た時のことを懐かしく思い出し
た。

彼とは、北海道・小樽での中学
から50年間、親交があった。母子
家庭の私の事情をいつも温かく見
守ってくれて、級友からの信頼も
厚い抜群のリーダーだった。読書
の大切さも教えてくれて、武者小
路実篤の小説「友情」を貸してく

れた。

高校の時、彼は父親の転勤で仙
台に移ったが、手紙で近況報告は
続けた。20歳の頃、仙台を訪ねた
ら、一緒に観光バスに乗って案内
してくれた。実家に1泊させても
らい、両親や兄弟からも歓迎を受
けた。

他行ではあるが、2人とも銀行
に就職。東京勤務で、いろいろ気
軽に話し合った。彼の結婚式には、
中学時代の友人と共に出席した。
退職後に仙台に戻つてすぐの計報
は、2001年元旦に届いた。良
き友人は一生の宝だと実感する。
「青葉城恋唄」にある『♪♪』思い
出は帰らず……』と言う歌詞が心
にしみる。

(この原稿は、神奈川新聞の「自由の声」に掲載されたもので、鹿摩さんに了解の上、掲載しています)

49期の団塊の世代も 後期高齢者です

49期

木村 哲



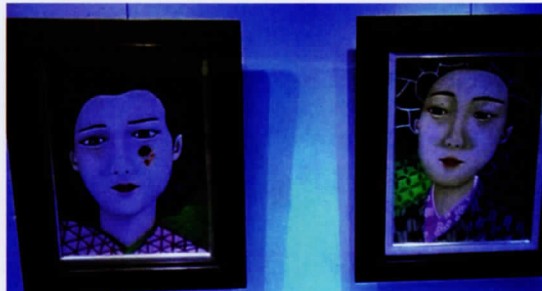
49期生は1クラス55名、10クラスの高校生活です。普通科は小学

区制で私は小樽緑陵高校区域でした。普通科は3クラス、全道・全国から入学する商業科の学生より学校に対する思いが少なかったように思います。

校舎の裏手にあったプール、テニスコート、ジャンプ台、通学時ショートカットした急な上り坂、体育授業で足腰を鍛え走った坂道等懐かしく思い出します。

2学年は文化祭で団結した仮装行列のパレードと東京オリンピックカラー放送を見にお邪魔した同級生のお宅とご馳走になったカナッペです。都会への憧れと大人の気分を味わいました。

毎日の授業や修学旅行のことはあまり思い出せませんが、ご自宅で補習をして頂き、食事をご馳走になっ



木村 哲 絵画2点

最後に寂しいお知らせです。同級生のK井護士のご訃報です。ご冥福をお祈りいたします。

私の高校時代

51期 菅原幼子

私が中学3年の時に祖父と父が続けて亡くなり、進学は商業高校への変更を余儀なくされました。そして高校1年の夏には祖母が他界し、1年足らずの間に家の中から3人が居なくなり、子供の私は自暴自棄になったことを覚えています。プチ家出も経験しました。

そんな中で、定時制から編入してきた1つ年上の女の子が、私の側にいつも一緒にいてくれました。お互いの気持ちが通じ合えたのでしょうか、その友とは今でも付き合いが続いています。

高校の思い出の1つは「9泊10日の東京や京都への修学旅行」です。連絡船に初めて乗り、新幹線



同級生と一緒に。右端が菅原さん

のデザインとスピードには、感激しました。(北海道新幹線の開業が超楽しみです)

多くの神社・仏閣を見学したはずですが、一緒に行動した友達との会話や食事の方が楽しすぎて、未だに忘れられません。

もう一つの思い出は、「文化祭」です。3年生の私のクラスのテーマは、「北海道百年」。その中で「弁慶号」を製作し、明治の小樽の生活ぶりを紹介したのですが、この汽車作りが大変で、早朝・放

課後と時間を費やし、心血を注ぎ完成させました。



まさに関わった私たちの努力と協力の賜でした。この弁慶号が仮装行列の中で地獄坂を下り、小樽の街中を走ったことを鮮明に覚えていいます。生涯消えることのないシーンです。



東京尊商會總會

記念写真

60周年(上)

65周年(左)



平成28年度 東京尊商會「同意の絆」
「創立65年目になりました。さらに同意の絆を深めよう!!」





2030年/令和12年度末 北海道新幹線・小樽・札幌開業予定の奥沢・後志トンネル（天神）



北海道新幹線 新・小樽駅建設奥沢予定地（階上駅？）

自立 敬愛 創造



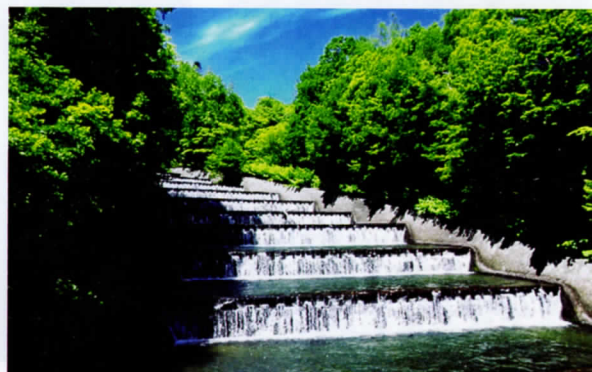
こよなく愛する小樽の 最近の風景と母校

2022年6月7日、北海道小樽未来創造高等学校を訪問。くさか教頭先生と面談。

現在は、流通マネジメント科、情報会計マネジメント科、機械電気システム科、建設システム科の4

科がある。各科定員40名。生徒数は、男女各210名の420名。スクールカラー

紺碧（こんぺき）。スポーツについては、全道大会へ、テニス・バドミントン・卓球・バレーボール等頑張っている。残念ながら「弓道部」はない。卒業生は、65%が進学、35%が就職へ道外への就職はないようです。就職先も、メーカーはなく、サービス業が多いとのこと。



小さい時の遠足で行った「奥沢水源地（水管橋）」



元母校の新生高校「北海道小樽未来創造高等学校」



正門入り口



元母校（左）。入口にある表札から、母校に設置された施設は、独立行政法人海技教育機構、国立小樽海上技術短期大学校、小樽市立高等看護学院、小樽市子ども発達支援センター、小樽市教育委員会



祝津海岸「民宿 青塚食堂」前での丸々と太った鯉の炭火での丸焼き



元母校 栄光の弓道場



校舎前庭にある「青雲抱大石の碑」

リモート座談会「小樽そして東京尊商会」について思うこと

2年間休会していました東京尊商会総会 同窓の絆を「70周年+1（プラスワン）」として、来る10月22日（土曜日）に開催を予定しています。
久しぶりにお目にかかる皆様、和気あいあいと楽しく懇親できる場を役員一同で準備してお待ちします。
役員会はコロナ禍で対面での打合せもままならず、リモート会議も取り入れ開催してきました。
今回は、東京尊商会の将来を担う若手役員とリモートによる座談会をお届けします。

出席者

常務理事：成澤 桂（68期）
常務理事：井上 和弘（69期）
理 事：後藤 剛（68期）
オブザーバー
相談役：島 久雄（41期）
会 長：小野 政春（49期）
事務局長：浜谷 哲男（45期）
司会 副会長：田中光隆（49期）

※この座談会の詳しい様子は、
東京尊商会ホームページ
<http://www.tokyo-sonshokai.net>
からご覧いただけます。



東京尊商会 先輩から引き継いだ 「同窓の絆」 71年に感謝！

今日は日曜のお休み中ご参加いただきありがとうございます。
コロナ禍になって何度か役員会をリモートで行ってきましたが、今回は麦笛の70周年記念号なので、若手役員の東京尊商会にかけの思いをお話してもらいます。

○東京へ来る切っ掛けは？

（井上）東京へ出る切っ掛けは、廊下に張ってある求人票で、今の会社の給料が一番高かったので就職することになりました。（笑）

授業で情報処理も学んでいたので面白そうだと思い決めました。ただ学内選考は厳しかったです。忘れもしません、昭和61年3月26日に初めて飛行機に乗って上京し、札幌支社に帰れると思っていたのですが、東京本社勤務となり35年が経ちました。

（成澤）やはり求人票を見てです。学内選考は厳しかったです。今の会社に就職しました。当時の社長の考えで、「北海道の人間は辛くても頑張る人が多い」という理由から北海道の出身者が90名ぐらいいました。テレビの「北の国から」を見ると小樽に帰りたいと思いました。が、いつしか36年もちました。（笑）

（後藤）丁度就職する1985年頃はこれからはコンピュータがメインとなる時代が来ると思い、また夢がある仕事と思いコンピュータ会社に就職し上京しました。それから、36年も経ちました。そろそろ第2の人生に入る時期でもあり感慨深いものがあります。

○高校時代の思い出は？

（井上）私は水天宮の近くに住んでいたのですが、招魂祭、水天宮例大祭、潮まつりと続くお祭りが一番の楽しみでした。仲間と夜に繰り出して楽しみました。

（成澤）写真は戦争反対をテーマの仮装行列の時のものです。戦争反対の主婦の仮装をしました。（笑）また、バンド活動や部活の硬式テニス部は楽しかったですね。硬式テニス部では全道大会にも行ったりして高校生活を謳歌しました。

仮装風景と
バンド活動
そして部活の仲間



成澤さん



（後藤）私の思い出は、部活や徒歩大会のために、メチャクチャ走った事です。学校から山を回って塩谷近辺まで走ってへ口になって戻ってきました。そうすると、先輩達のご褒美に「みかど商店」で大きなコーラを奢ってくれました。（笑）

○高校時代の夢は？

（井上）私の父は建築関係の仕事をしていましたが、その仕事を継ぐべきか悩みました。父が「家業を継がなくてもいいよ」と言ってくれたので今の仕事に就くことができました。IT業界は面白かったので結果として良かったと思います。

（成澤）社会人になってから仕事を頑張れば良いと考えていました。しかし、高校時代はとにかく楽しく過ごそうと思っていました。就職してからは、褒められる人間になろうと真面目に頑張りました。少しでも故郷に還元できる事をしたいとも思っていました。最近是我が社の水産関連の仕事で札幌に向いたりしています。少しずつ繋がって行けばと思います。

（後藤）テクノロジで社会に貢献したという夢を描いていましたが、企業の現実には結構臭い面もありましたね。やはり、お客様とのコミュニケーションやお客様目線で考えるなど色々学びました。北海道もへも何度も出張してITテクノロジの面で貢献できていると思っています。

○今、小樽について思うことは？

（井上）年に3回ぐらい小樽に帰っていますが、最近人口減少や町並の代わり映えが気になります。言い方が悪いですが寂れて国道5号線沿いにも空き家が目立って来ました。坂の多い町なので人口減に伴ってコンパクトシティ化（※住まいと生活機能（交通、商業施設など）が近接している効率的

井上さん

小樽潮まつり風景



な都市)みたいなことができると良いなと思います。観光資源以外に気になるところです。

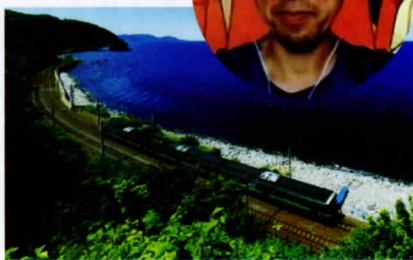
(成澤) 私は稲穂町に住んでいた

ので運河や第3埠頭が遊び場でした。先般、老朽化を理由に小樽運河のシンボル「北海製缶小樽工場第三倉庫」が解体の危機に瀕していると聞き、保存活動を目指すクラウドファンディング(※多数の人による少額の資金が人々や組織に財源の提供などを行うこと)に寄附しました。(笑)一緒に東京に出た私の悪友は、家業を継ぐ為小樽へ戻りましたが、今では、みなとライオンズクラブの会長を歴任するなど(小樽の為に)頑張っています。彼らと一緒に、今の小樽の現状に合わせた、お年寄りや観光客や小樽以外で働く人などを繋げる何かをして行きたいと思っています。



北海製罐第三倉庫

後藤さん

小樽駅へ向かう
海岸線風景

(後藤) 以前奥さんと小樽を訪れたがそこからの港が見える景気が思い深いです。また、「小樽へ帰ってきたな」と思うのは、銭函(張碓)小樽へ向かう海岸線を見ると懐かしさが湧き上がります。小樽も他都市と同様に人口減ではあります。何か今の仕事であるテクノロジの面で社会貢献できることはないかと思っています。

○東京尊商會に入会したのは？
(井上) 総会案内は届いていましたが、36歳の時子供も少し大きくなって一段落したので、ふらっと参加したのが初めてでした。大歓迎されたのを覚えています。

(成澤) 私は読売新聞の「同窓会開催欄」を見て興味を持ち参加しました。「東京で成功してる人たちはどんな人か」興味があり、参考にしたと思ったんですね。仕事の先輩の中には小樽の方はいなかったのとお会いしたかったです。井上さん同様に大歓迎を受けました。

(後藤) 参加の切っ掛けは、井上さんとは会社と同じでしたから、「クラスメイトの成澤さんも来ているから、同窓会に行ってみないか」と誘いを受け参加しました。やはり行く切っ掛けとなった仲間には有難いと痛感しています。

○東京尊商會の役員になって感じることは？

(井上) 役員になってみて、同窓会に参加する切っ掛けとは何かを考えるようになりました。例えば、子供の手が離れた、親との環境が変わったなど色々あると思います。同窓会に参加する心理的なものに興味があります。

(成澤) 以前、子育てが大変な若手の参加費を招待(無料)にした時もありましたが、その年は来ていただきましたが、長続きしなかったですね。私はふと心が疲れた時に行けるのが東京尊商會であって欲しいと思っています。

この会は凄く先輩達がパワフルで元気があります。その一方で元気がないと思っている人達はいくつかないと思っているんじゃないかなと……。気軽に参加できる工夫が必要ですが、それが何か模索していく必要があると感じています。

(後藤) ある程度の年齢が来ると仕事以外の方とのネットワークが必要だと思います。特に同じ素地や思いがある同郷同窓とのコミュニティが必要だと年々思っています。会社を辞めてしまえばそこで繋がりは細くなります。そんな

時に同窓会があれば心癒やされるのではないのでしょうか。それに応えるために今後どうするかは、若手役員の皆さんと考えていく課題だと思っています。

○同窓会活動で得られたものは？

(井上) 学校を中心とした話題を皆さんと話さう事で、学校に対する興味が膨らみました。また、会ってみると皆さん高校生時代に帰るなと思いますし、先輩達は第2の人生、第3の人生を築いている印象を受けます。私もそのことは意識していきたいです。

(成澤) 先輩から若いねと言われるますが、先輩達には人生の年輪を感じますし、女性方も、ものすごい元気で逆に皆さんから元気のパワーをもらっています。

(後藤) 同じ場所で学びをした人達、同じ小樽という街で過ごした人達と集うことは、日頃の緊張やストレスを解消できます。

また、諸先輩の意見も今になって重みがあるなと理解できるようになりました。引き続き皆さんと一緒に東京尊商會を盛り上げていきたいと思っています。

「お誘い」の一言

(井上) 年が違えど同じ高校での思いが共用できます。次元を超えてコミュニケーションできます。是非参加してください。

(成澤) 参加して、直接話してみても、感じて欲しい。「あんたどこに住んだの」「稲穂町です」「喫茶店光やあまとう良く知ってます」「あまとうのフルーッパフェ最高だもんね」。間口は広くオープンです。

(後藤) 麦笛に寄稿しましたら先輩からお手紙をいただき当時のクラブのコーチが元気にしていると情報をいただき今は手紙のやり取りをしています。どこかで繋がっていくものだ痛感しています。是非、息抜き場としお出かけください。お待ちしております。

オブザーバーから...

(島) 3人の話を聞いて青春を思いだしたことは大きな収穫です。私は36歳ぐらいから東京尊商會に関わりましたが11期(昭和3年卒)の先輩で中田乙一さん(元三菱地所社長)さんがいて、素晴らしい先輩の刺激を受けてまたお世話になりました。「先輩から受けついた情熱と同窓の絆」をこれからも伝えていきたいと思っています。

(浜谷) 仕事関係の人は少数ですが、スキーの仲間とは50年付き合いがあります。私自身は楽しむことを生活の一部としてと思っているからです。多分東京尊商會に参加して良かったと思うことが、きっとあるはず。私も生きてる限り大変ではありますが、同窓会をもう少しやっていこうと思っています。

(小野) 仕事以外のコミュニティを持つことめぐまれたことです。東京尊商會は在校時や小樽の思い出がぎゅぎゅ詰まった「宝箱」です。東京尊商會は卒業生の交流できる場としてあり続けます。

(田中) これまで、ダカール・ラリー最年長出場の前輩の講演、女性ジャズバンド、ハーモニカ合奏等々をお呼びし楽しめる同窓会を心がけてきました。これからも懐かし語り、楽しめる同窓会を目指します。



2020年度(令和3年度)
東京尊商会活動報告
令和3年 東京尊商会総会 開催中止
役員会 開催中止
8月『麦笛』第33号発行

事務局へのご連絡は 浜谷哲男 TEL (FAX)

会員の住所変更など、気軽に相談下さい。
ご意見大歓迎!

『座談会パート2』

座談会当日、仕事で参加できなかった最若手75期
小林誠さんから寄稿いただきました。

「子供の頃から東京に出るのが夢で機会を伺っていました。不安も多く踏み切りがつきませんでした。ある雑誌に悩み相談のコーナーがあり、メールを何気なく送ったところ俳優の故郷井雅之さんが雑誌にコメントして下さい、「東京に出たい夢があるならぐちゃぐちゃ考えずに勝負しろ!」と後で絶対後悔するぞ!」と激励され、背中を押してもらいセコム(株)に入社しました。今井さんが2015年に亡くなられた時は非常にショックでした。

「高校で一番印象に残った学校行事は競歩大会です。景色の良い旭展望台から北照高校の方まで走るのが好きでした。」
「小樽について今思うことは、人口が急速に減り、高齢化も進み非常に心配しています。観光業もコロナで深刻な影響を受けたよう心が痛みます。コロナが収まったら小樽へ帰郷したいと思っています。それまでは百貨店の北海道展で唐揚げの「なるとや鍛冶商店」など見つけたら買いたいと思います。」
「同窓会活動でえられたものは「絆」です。東京で同じ母校の方々に会えてきた。母校は無くなりましたが皆様の心の想い出が、ずっと続くような活動をして行きたいと思っています。」

小林 誠さん



お詫び
前号(第33号)60期・馬場晃さん寄稿のなかで、原稿後半「青い海の港を望み下る」を著作者の承諾なしに、加筆したことに付きまして、訂正し、馬場様に本紙を以てお詫び申し上げます。

編集後記

3年前の「活動自粛」企業においてはテレワーク、必要に応じて早く導入する企業、働き方改革がようやく見えつつある社会経済の中、昔中学校の授業でよく聞いた「肥沃な大地」としてウクライナが、8年前のクリミア半島にロシアの強硬併合攻防その延長線上で、改めてのウクライナ侵攻による世界経済への変調、我々もソ連からロシアへの変更……外から見ていると国が代わると言うメカニズムが解るようで、判らない?根が深いのか、島国の日本は、エネルギーは海外に頼り、石炭・石油・ガスの需要に敏感に影響を受ける。寿司屋の食材も大部分が輸入に、100円ショップは中国をはじめ東南アジアにて生産、為替・物流混乱で、不安が不安を誘発。

東京尊商会も小野会長等テレワークにてコミュニケーションを図り、総会に向け何が出来るか話し合い、諸先輩方の熱意に驚くばかりです。

在京の母校の想いを寄せ、過去を振り返ると、一瞬の青春3年間、地獄坂を走り、雪の日もあり親の庇護のもとで学校へ、全て初体験で社会に近づきつつある中で卒業後50年から60年、子供も人生の半ば、孫も小中学生、今振り返ると会社勤務の大変だったこと、楽しい事は記憶として薄く反して、高校の想いは輝きあせることはありません。

暑い汗を流し、寒い雪有るときは背を丸め小さくなり通った古い校舎、2階の教室からは小樽港が見え晴れと曇りでは海の色も変わり、四季をぞんぶん味わうことが出来ました。

その母校が閉校したことは残念ですが、今回小樽未来創造高校に行き若い生徒さんを見ると名前は変わっても、小樽商業・小樽工業の伝統を引き継ぎ時代に合った勉強をしているとのこと、陰ながら応援したいと思っています。

村井健 51期

令和3年度 会計報告 (令和3年4月1日~令和3年3月31日) (単位:円)

収入の部				支出の部			
項目	内容	金額	金額	支出計	内容	金額	金額
繰越金	前期より		596,102	支出計			318,939
	うち普通預金	28435		麦笛 33号	麦笛 33号製作費	117,500	
	うち郵便当座預金	566,945			振込料金	440	
	うち手持現金	722			麦笛送料等	5,748	
					振込料金	275	
					資料送料	4,120	
収入計			211,001	封筒資料	印刷料金	30,140	
総会会費					振込料金	440	
				会報	郵送料金	71,720	
					振込料金	275	
年会費	振込分 211名	211,000					
	(会場分含む)			会議費	役員会、会合費	6,865	
その他収入	預金利息	1		年賀状等	年賀状印刷郵送	35,400	
					振込料金	440	
					切手、消耗品費	13,336	
				手数料	会費振込手数料費	32,240	
				慶弔費	祝金、見舞金	0	
				繰越金	次期へ		488,164
					うち普通預金	248,526	
					うち郵便当座預金	237,703	
					うち手持現金	1,935	
			807,103	合計			807,103

上記の通り報告します。会計・浜谷 哲男 上記の通り間違いありません。 監事・村松 次男 監事・千葉 敬朗